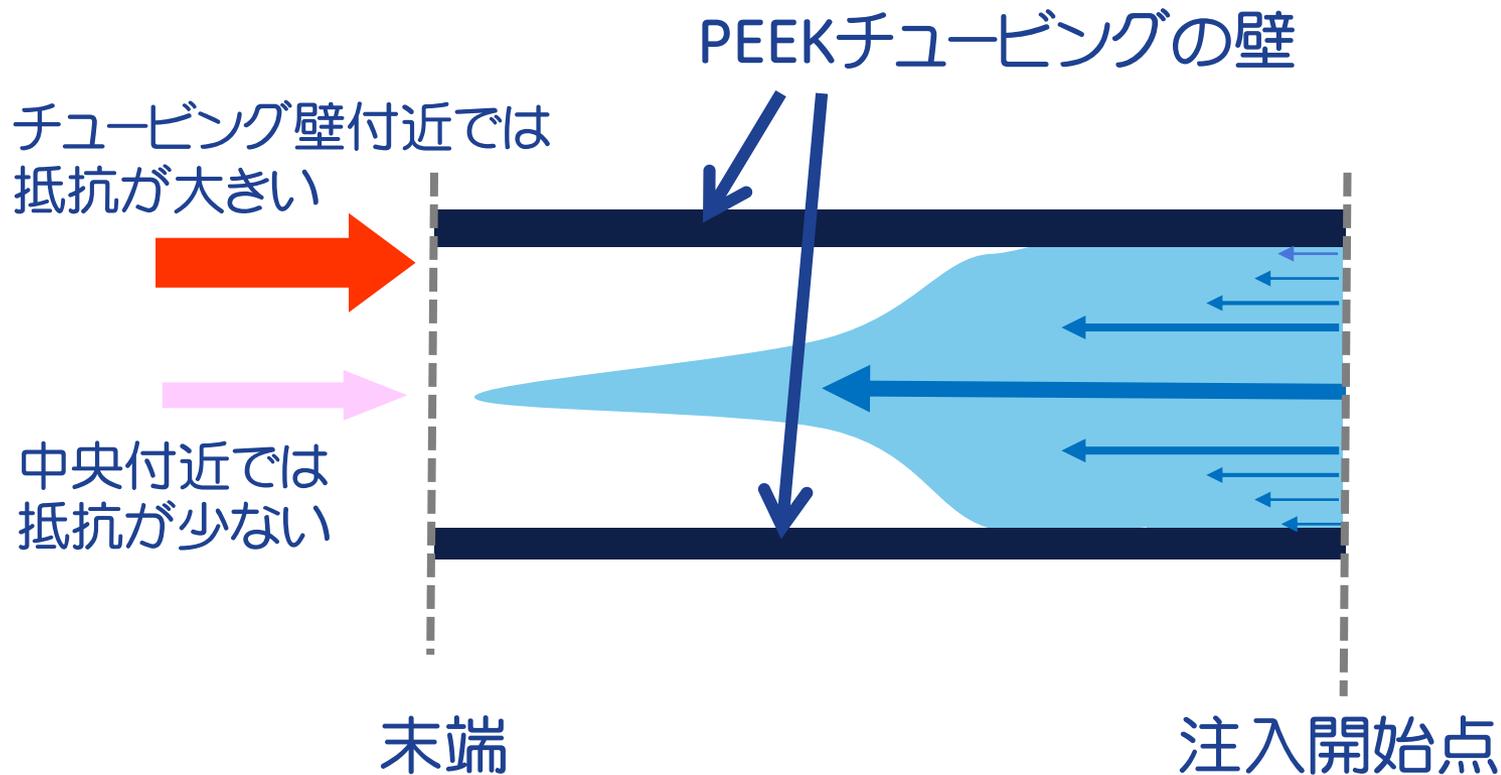
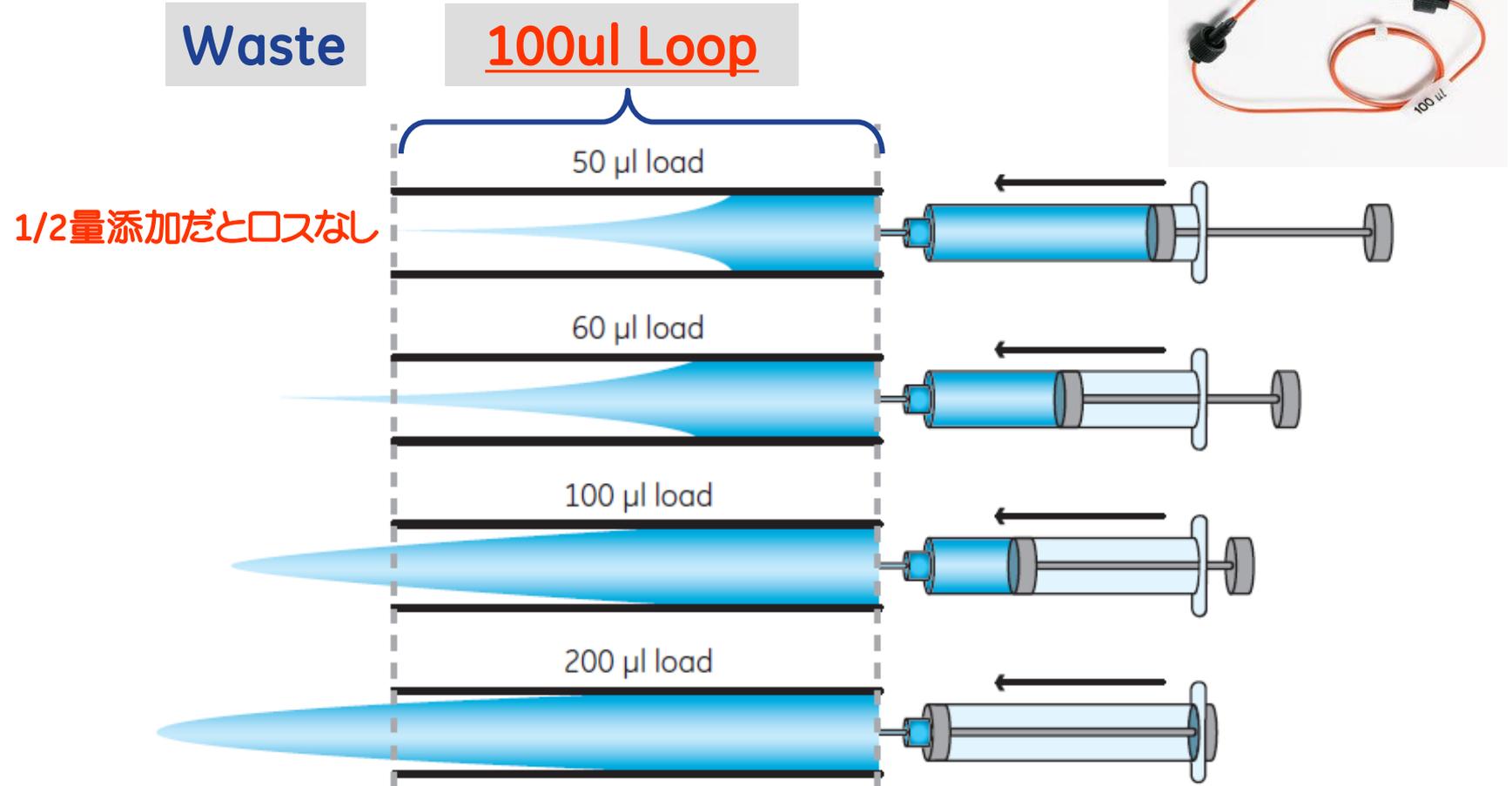


PEEKチュービング中の溶液の流れ方



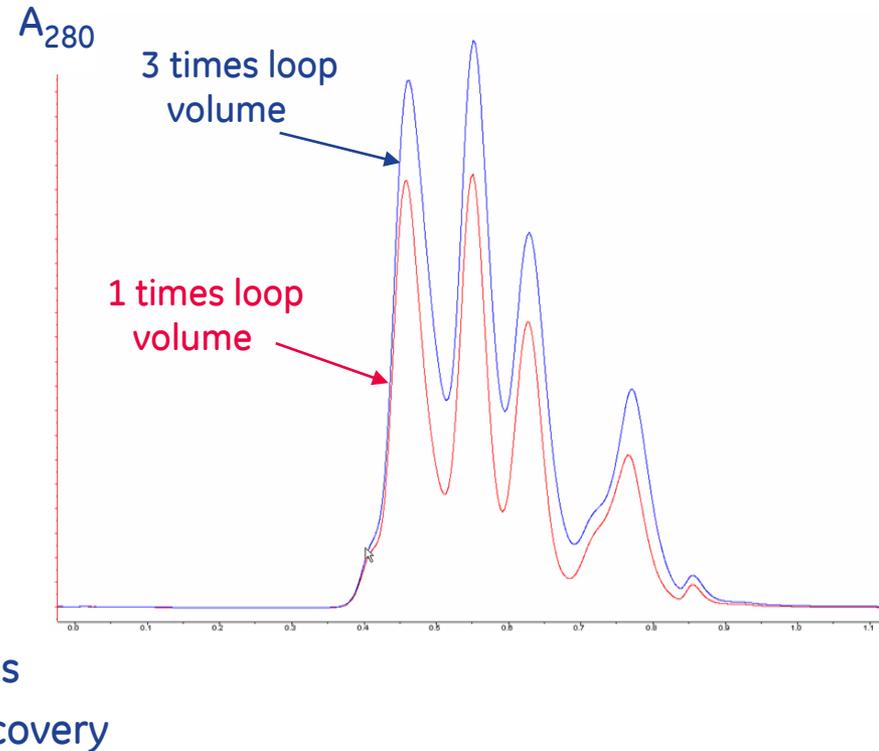
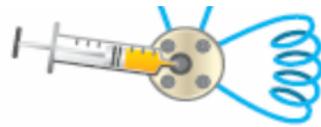
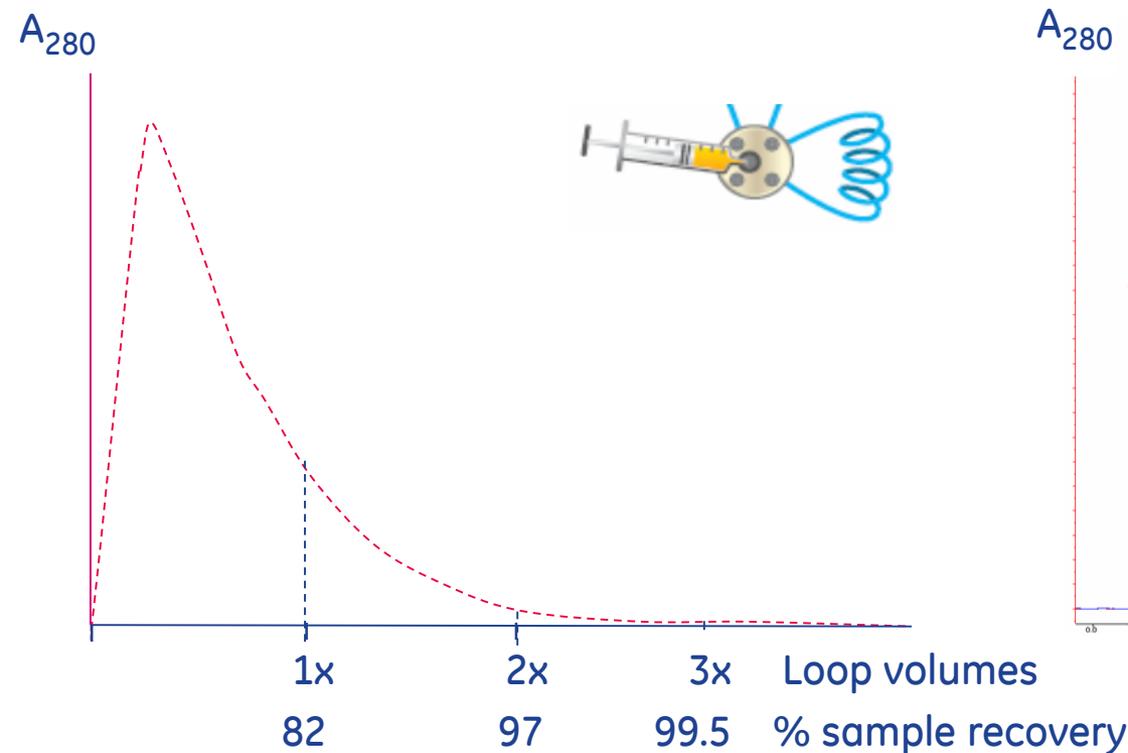
チュービングの中央ほど先に進み、管壁付近は遅れる

サンプルループへサンプルを打つ時には？



- 部分充填= ループ体積の1/2までの充填でロス回避
- 完全充填= ループ体積の3倍以上の充填で完全に満たされる

ループ中のサンプルをカラムに押し出す バッファ量は?



ロスせず打ち込むには、ループ体積の3倍以上のバッファでサンプルを押し出す必要あり

(配管径により前後する可能性がある)

サンプルループへの部分充填のやり方 (AKTAprime plus)

充填操作中にInjection/バルブのポジションを切り替える必要がありますがAKTA prime plusではシステムEndの状態ではバルブ切り替えが出来ないため、必ず準備操作として1)2)を実施します。

- 1) **Manual Run** メニューより **Set Flowrate:0.1 ml/min** (設定可能な最低流速)、**Set Pressure limit:** (使用するカラムの耐圧)を指定し、**Start Run** まで画面を進めてOKする
- 2) Startした直後に**Pause**ボタンで一時停止 (“ M Pause” と表示され、ピ、ピと音が鳴る状態)
- 3) 下方向キーを9回押し、**Set injection valve Pos.** にてOKを押す。このときInjection/バルブのポジションがLoadであることを確認する
- 4) 注射器よりサンプルループの3倍以上のバッファを注入する。注射器は差したままにする
- 5) **Set injection valve Pos.** にて **Inj** ポジションを選択してOK を押す
(この時点でバルブは切り替わり、画面は(Inj)に変わり現在のポジションを表した状態となる)
- 6) バッファが入っていた注射器を抜く
- 7) サンプルを吸い上げた注射器を差しこむ (注意! まだサンプル注入はしない)
- 8) **Set injection valve Pos.** にて**Load**を選択しOKする(この時点でLoadポジションへ切り替わる)
- 9) 液晶画面にてバルブポジションが(**Load**)であることを確認してから、注射器からサンプルを注入する。
(注意:注射器は実験が終了するまで抜かない)
- 10) **End** ボタンでマニュアル操作を終了

注意点:7)にてInjポジションの状態サンプルを注入すると、サンプルはループに入らずに廃液されるため、必ず8)9)の作業を実施ください